

# 2018年度 事業報告

社会福祉法人 晴誉会

## 1、総論

社会福祉法人晴誉会の掲げる理念のもと、以下の各項目において方針に則った保育・教育活動、施設運営の実現を目的として、下記のとおり事業を実施した。

## 2、2018年度の動向

### <大阪府北部地震>

2018年6月、大阪北部を震源とする最大震度6弱の大阪府北部地震が発生した。

この地震による児童・職員への被害はなかった。園舎には以下の軽微な被害が発生した。

- 山手台保育園 【補修 済】
- 彩都保育園 【補修 済】
- 用品の落下による保育用品の破損 【廃棄】

大きな被害は発生しなかったが、「万が一に備える」ため、今回の地震を機に、児童の引き渡し方針や、罹災時の保育提供方針、災害用品の備蓄の再確認などを行った。

### <法人体制>

2018年度は、2施設の安定運営を目的とした法人事業活動を行った。

### <地域の保育概況>

2018年度は茨木市全体で、依然として待機児童数がやや高い水準で推移している。

全体的には小規模保育所による3歳児難民の影響もあり、待機児童が非常に多い年度であった。北部地域（山手台・彩都の地域）においては、待機児童数が就学前の全年齢で多く、ある程度の福祉ニーズが見込まれた。

前年に山手台で新町2丁目の街びらき、彩都で新マンションが建設された影響があり、両施設ともに1歳児の保育ニーズが非常に高い結果となっている。

### <運営>

待機児童の解消のため、両施設ともに過去最大となる児童数と職員数を抱える形となった。

また要配慮児童の数は依然として増えており、実質的にはすべての幼児クラスで加配職員の配置が必要な状況となった。

### <事業>

2018年度では新規事業は実施していない。

両園共に継続して両施設ともに緊急一時預り保育（地域子育て支援事業）、山手台保育園では学童保育事業（自園型）を実施した。

### <職員体制>

児童福祉法における最低基準を上回る配置を維持した。

### <人材育成>

今年度も計画に基づき、各種の養成研修の実施を実施した。

### 3、施設運営・法人運営

#### <山手台保育園>

- ・ 園舎は建築 40 年を迎えており、基礎部分での老朽化した設備・備品に関しては、今後の計画的な再購入・再整備が必要となっている。
- ・ 地域の保育ニーズとしては、年間を通じて高いニーズが感じられた。

#### <彩都保育園>

- ・ 開園 10 年を迎え、園舎はや基礎部分での老朽化した設備・備品に関しては、今後の計画的な再購入・再整備が必要となっている。
- ・ 地域の保育ニーズとしては、年間を通じて安定した園児数の推移となっている。

#### <法人>

- ・ 法人全体の運営状況としては、概ね当初の計画の通りの推移となった。
- ・ 経営状況としては、見込みに対して概ね想定内での推移となったが、幼保連携型認定こども園の制度（配置や加算など）への最適化に難儀している部分が散見される。

### 4、事業報告

#### <総論>

2018 年度でも、当法人においては保育サービスの維持を念頭に、前年と同内容の保育に努めた。

### 5、その他

#### <台風 21 号による被害>

- ・ 2018 年 9 月、非常に強い台風 21 号が近畿圏を縦断した。
- ・ 当法人施設等においては軽微な被害・影響があった。
  - 山手台保育園 【補修 済】
  - 彩都保育園 【補修 済】

以上